



人前で話すことは、大人でも容易ではありません。子どもならなおさらでしょう。しかし、なぎさ公園小学校では、この難しいプレゼンテーションの力を大事に育むカリキュラムを通して未来につながる力を身につけています。

12/1 おはなし発表会（1年）

題材は、「九ひきの小おに」です。お話の世界にどっぷりと浸り、味わい、感じて、友だちと協力して一つの物語を繋いでいきます。

講堂の後ろまでよく伝わるには、発声や発音、声量にも気をつけなければなりません。互いに練習をする中で気づきを出し合い、家の人に楽しんでもらおうと一所懸命です。

感想を交流したり、先生やお家の人から感想をもらったりしました。笑顔と瞳の輝きが会の成功を物語っていました。

12/12&12/14 異文化体験報告会

4、5年生や保護者の方々にニュージーランド、台湾、タイの3つの異文化体験をした児童による報告会が行われました。ホームステイや交換留学などでは、ひとりで外国の家庭で暮らすわけですから、



不安がないわけではありません。報告会の中でも最初は心配したとの声がありましたが、何より現地の人たちの温かいもてなしや親切に満ちた時間や思い出が一番心に残ったと口々に語っていました。小学生の時期に得た感動は、大切な宝物になったはず。自信に満ちた報告にたくましい未来のリーダーを見る想いでした。

12/15 おはなし発表会（2年）

題材は、子どもたちと話し合って「三まいのおふだ」に決まりました。1年生の時の経験を生かし、練習のときから、アドバイスやアイデアを出し合って創り上げました。また、絵画造形の時間には、和尚さんとやまんばの絵を描いた70枚の「三まいのおふだ」の絵がいっせいに貼りだされると、そこは、もう昔話の世界。迫力のある登場人物を描いたり、細やかに背景まで心をつくしたりした作品は、見事と言うほかありませんでした。

ピラカンサのクリスマスリース

工大高校通信制の上野教頭先生から、ピラカンサで作ったクリスマスリースが届きました。冒険遊びでもお世話になっている先生ですが、いつもなぎさっ子のことを思っていてくださいます。うれしいことです。

12月の生活目標

- すみずみまで掃除をしよう
- 時間を意識して行動しよう

未来に生きる「プレゼンテーション」力

「なぎさで学ぶとどんな子どもになる？」と問われたら、「コミュニケーションの力やプレゼンテーションの力がつきますよ。」と答えるでしょう。普段から話し合うこと、聞き合うこと、意見や考えを出し合い、整理してまとめていくことなど、色々な機会をとらえて表現力を磨いていますから。ノートやワークシートに書いたことを発表することを大事にしなが、少しずつ書いたものを見なくても言うことができるようになったり、予定していなかったことも付け加えて言うことができるようになったり、意見の違いから互いに深く考えたりする力がついていることは、6年生を見ればわかります。これからは、先生から答えを教えてもらうだけでなく、自分たちで考えて創りあげる学習が大事になります。

なぎさっ子が大人になる頃、世の中は進化して大きく変わっていくと言われています。外国の人とも一緒に仕事をしていくこともあるでしょう。ことばの違いを越えて理解しあう必要もあるでしょう。今、なぎさで学んでいることは、未来につながる学習をしているのだと思います。自信と誇りを持って、ますますチャレンジして行ってほしいものです。

